

平成30年度 第2回

受注登録企業動向調査結果報告書

<概況>

受注量については一部では減少傾向が見られるものの、全体的な横ばい基調は不変で、今後の受注見通しについても、年内はほぼ横ばいに推移していく見込み。

資金繰りについても大きな変化は見られないが、前回の調査で見られた一部の受注単価の低下については改善傾向にある。

また、採算状況については「赤字」と回答した企業が若干増加したものの、依然として「黒字」と回答した企業の割合は高い水準を保っている。

一方で、「受注余力あり」と回答した企業が半数を超えるなど、一部の府内中小企業の受注状況は一服感があるといえる。

<項目別の特徴>

- (1) 受注量 : 全体的な横ばい基調は不変であるが、一部では減少傾向が見られる。
- (2) 受注見通し : 全体としては大きな変化は見られず、年内はほぼ横ばい。
- (3) 受注単価 : 「低下」の割合が近年では最少となった。
- (4) 資金繰り : 全体として大きな変化は見受けられないが、「好転」および「悪化」の回答割合がそれぞれ減少。
- (5) 採算状況 : 「赤字」企業数が増加したが、依然として「黒字」企業の割合は高い水準で推移。
- (6) 受注余力 : 「受注余力あり」とする企業が57.2%と、前期と比較して9.1ポイントの増加。

(注) 本報告書で使用するDIとはディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したとする企業の割合から「減少」・「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

【参考】 ものづくり支援部 販路開拓グループでは9月、10月の2度に渡り、九州地方の半導体関連装置およびFA機器メーカーを中心に約20社を訪問し、景況感についてヒアリングを実施。半導体関係については、米中貿易摩擦等の影響から「スーパーサイクル」にも踊り場感があるものの、年末以降に再び活況を取り戻すのではという意見が多く聞かれた。

調査対象期間 平成30年7月～9月
(平成30年9月末集計)

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300社

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	18社	② 金属製品関係	68社
③ 一般機器関係	85社	④ 電気機器関係	54社
⑤ 輸送用機器関係	18社	⑥ 精密機器関係	21社
⑦ 樹脂製品関係	36社		

(3) 調査時点

平成30年9月末日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

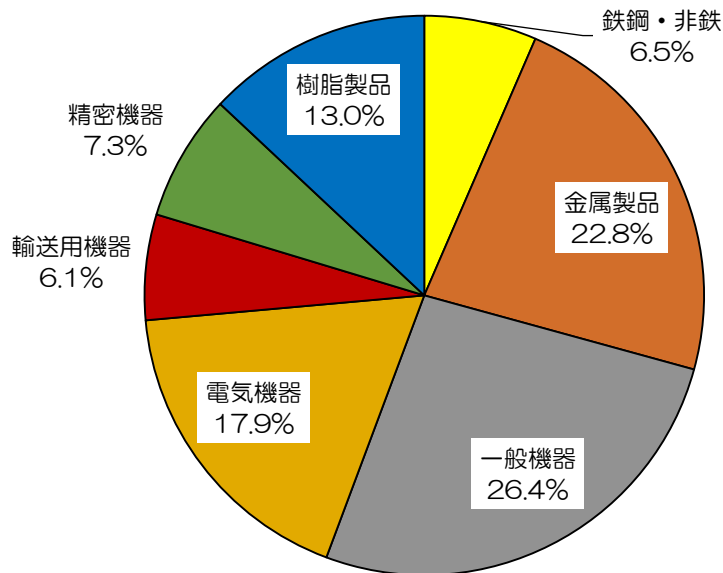
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）
※一部企業へはヒアリング調査を実施

(5) 回答状況

① 調査対象企業数	300社		
② 回答企業	246社		
③ 内訳			
鉄鋼・非鉄関係	16社	(6.5%)	
金属製品関係	56社	(22.8%)	
一般機器関係	65社	(26.4%)	
電気機器関係	44社	(17.9%)	
輸送用機器関係	15社	(6.1%)	
精密機器関係	18社	(7.3%)	
樹脂製品関係	32社	(13.0%)	
④ 回答率	82.0%	[前回：83.3%]	

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
個人	6 2.4%		1 1.8%		2 4.5%			3 9.4%
~300万円	15 6.1%		4 7.1%	1 1.5%	4 9.1%	2 13.3%	2 11.1%	2 6.3%
301~999万円	14 5.7%		4 7.1%	6 9.2%	1 2.3%	1 6.7%		2 6.3%
1000~2000万円	134 54.5%	9 56.3%	34 60.7%	38 58.5%	23 52.3%	2 13.3%	11 61.1%	17 53.1%
2001~5000万円	59 24.0%	5 31.3%	12 21.4%	17 26.2%	11 25.0%	4 26.7%	3 16.7%	7 21.9%
5000万円超	18 7.3%	2 12.5%	1 1.8%	3 4.6%	3 6.8%	6 40.0%	2 11.1%	1 3.1%
合 計	246 100%	16 100%	56 100%	65 100%	44 100%	15 100%	18 100%	32 100%

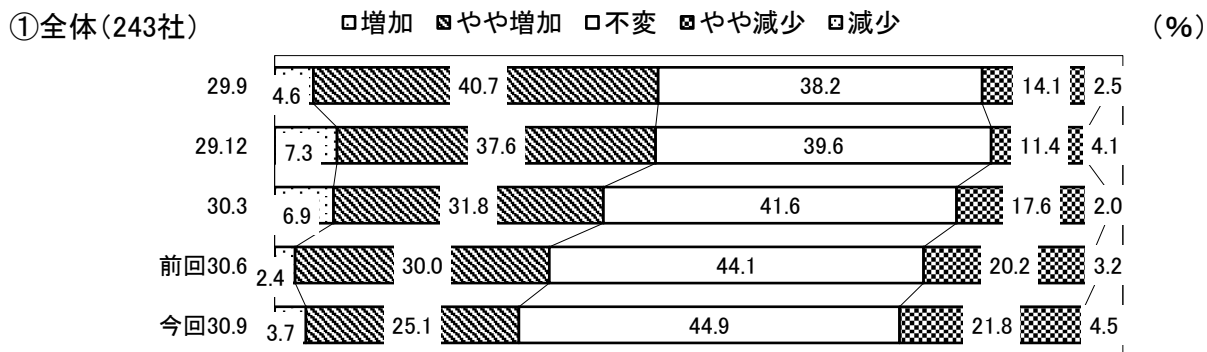
(3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

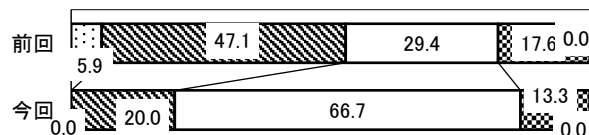
	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
1~5人	20 8.1%	4 25.0%	4 7.1%	5 7.7%	3 6.8%			4 12.5%
6~10人	27 11.0%	2 12.5%	4 7.1%	6 9.2%	5 11.4%	3 20.0%	4 22.2%	3 9.4%
11~20人	71 28.9%	1 6.3%	18 32.1%	26 40.0%	10 22.7%	1 6.7%	4 22.2%	11 34.4%
21~30人	32 13.0%	3 18.8%	11 19.6%	9 13.8%	4 9.1%		2 11.1%	3 9.4%
31~50人	41 16.7%	3 18.8%	8 14.3%	8 12.3%	12 27.3%	3 20.0%	3 16.7%	4 12.5%
51人以上	55 22.4%	3 18.8%	11 19.6%	11 16.9%	10 22.7%	8 53.3%	5 27.8%	7 21.9%
合 計	246 100%	16 100%	56 100%	65 100%	44 100%	15 100%	18 100%	32 100%

3. 調査結果

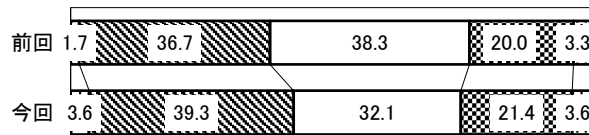
(1) 受注量について



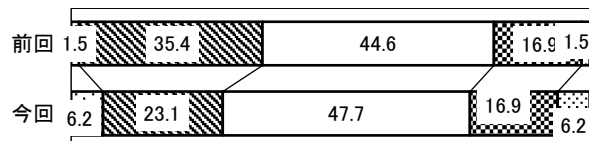
②鉄鋼・非鉄 (15社)



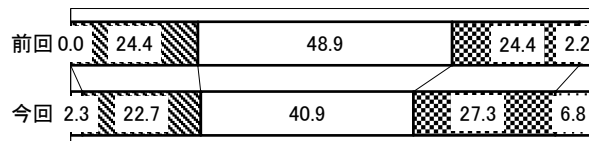
③金属製品 (56社)



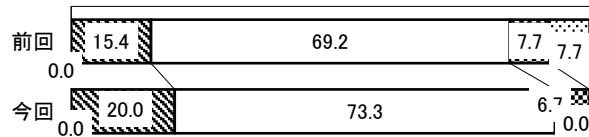
④一般機器 (65社)



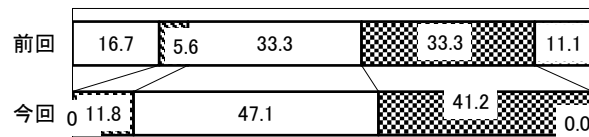
⑤電気機器 (44社)



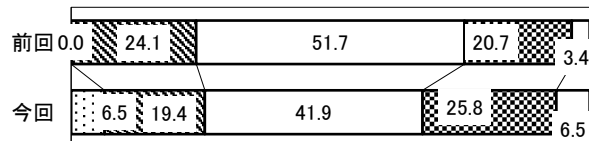
⑥輸送用機器 (15社)



⑦精密機器 (17社)



⑧樹脂製品 (31社)



○全体

・7月～9月期の受注量の業況判断DI（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は2.5となり、前期（4月～6月期）のDI値9.0と比べ6.5ポイント低下と、全体的な横ばい基調は不変であるが、一部では減少傾向が見られる結果となった。

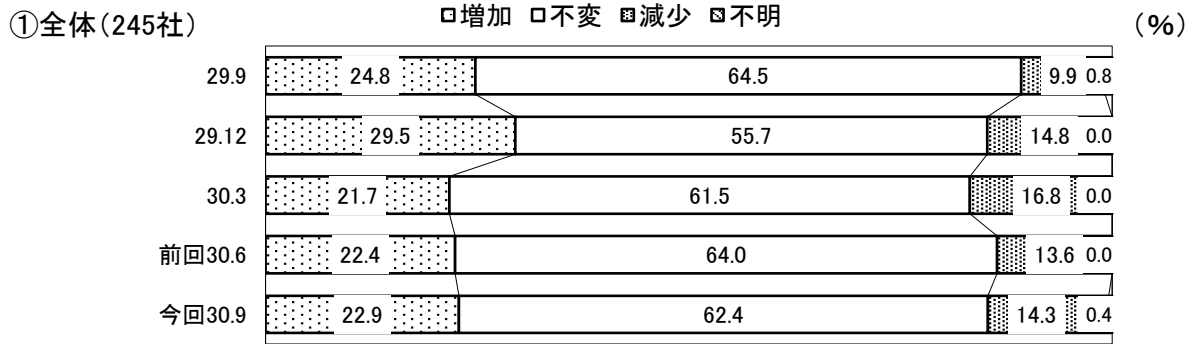
○業種別

・DI値は、金属製品（17.9）、輸送用機器（13.3）、鉄鋼・非鉄（6.7）、一般機器（6.2）の4業種でプラスとなり、樹脂製品（▲6.4）、電気機器（▲9.1）、精密機器（▲29.4）の3業種ではマイナスとなった。

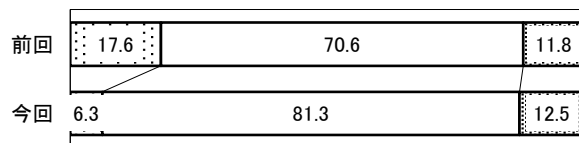
・DI値を前期と比較すると、輸送用機器（13.3ポイント）と金属製品（2.8ポイント）の2業種で上昇しており、樹脂製品（▲6.4ポイント）、電気機器（▲6.9ポイント）、精密機器（▲7.3ポイント）、一般機器（▲12.3ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲28.7ポイント）の5業種が低下している。

・鉄鋼・非鉄のDI値が低下している。

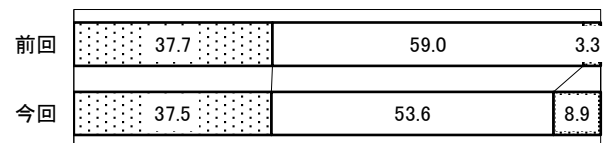
(2) 受注量の見通しについて (3ヶ月先について調査)



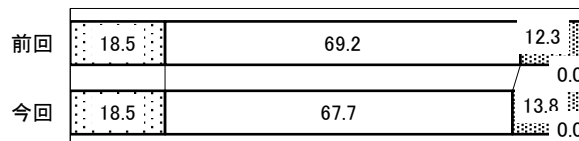
②鉄鋼・非鉄(16社)



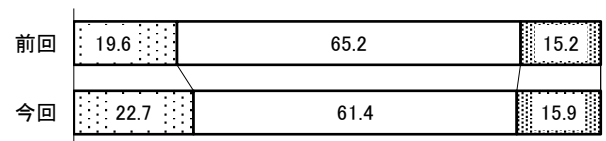
③金属製品(56社)



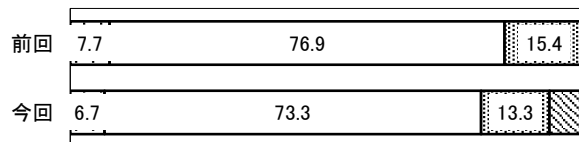
④一般機器(65社)



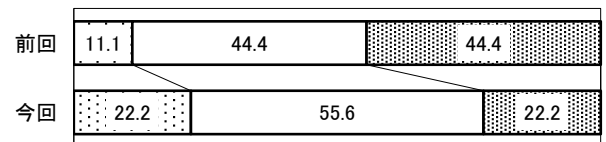
⑤電気機器(44社)



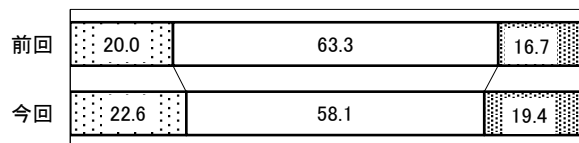
⑥輸送用機器(15社)



⑦精密機器(18社)



⑧樹脂製品(31社)



○全体

・次期(10月~12月期)の受注量見通しの業況判断D I (「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は8.6となり、前期調査時のD I値8.8と比べ0.2ポイント低下したが、全体としては大きな変化は見られず、年内はほぼ横ばいに推移していく見込み。

○業種別

・業種7分類中D I値がプラスであったのは、金属製品(28.6)、電気機器(6.8)、一般機器(4.7)、樹脂製品(3.2)の4業種。精密機器(±0)のみ「増加」と「減少」の回答が同数となり、鉄鋼・非鉄(▲6.2)、輸送用機器(▲6.6)の2業種はマイナスであった。

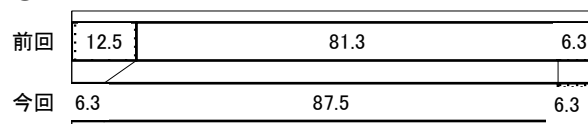
・D I値を前期と比較すると、精密機器(33.3ポイント)、電気機器(2.4ポイント)、輸送用機器(1.1ポイント)の3業種で上昇。樹脂製品(▲0.1ポイント)、一般機器(▲1.5ポイント)、金属製品(▲5.8ポイント)、鉄鋼・非鉄(▲12.0ポイント)と4業種で低下している。

・鉄鋼・非鉄で「増加」の割合が減少した。一方、精密機器のD I値が大きく改善された。

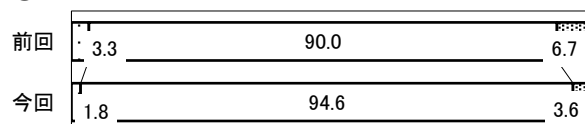
(3) 受注単価について



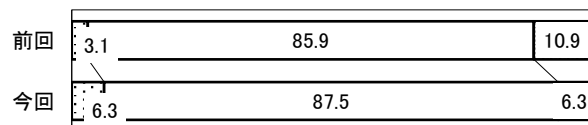
②鉄鋼・非鉄(16社)



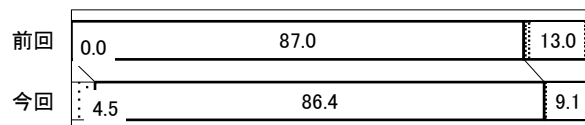
③金属製品(56社)



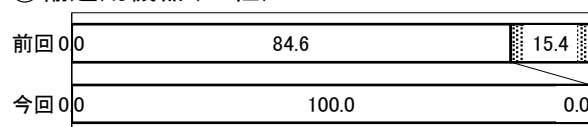
④一般機器(64社)



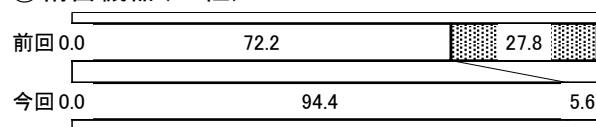
⑤電気機器(44社)



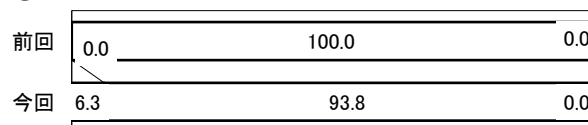
⑥輸送用機器(15社)



⑦精密機器(18社)



⑧樹脂製品(32社)



○全体

- ・7月～9月期の受注単価の業況判断D I（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲0.8となり、前期（10月～12月期）のD I値▲7.7と比べて6.9ポイント上昇と、「低下」の割合が近年では最少となった。

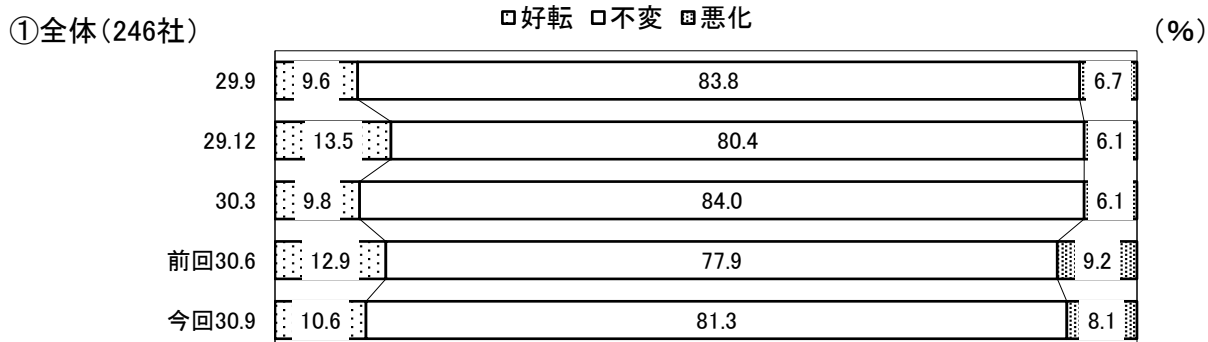
○業種別

- ・7業種中、D I値は、樹脂製品（6.3）の1業種でのみプラスであった。全て「不変」との回答であった輸送用機器と「上昇」と「低下」の回答が同数であった鉄鋼・非鉄、一般機器は（±0）となり、金属製品（▲1.8）、電気機器（▲4.6）、精密機器（▲5.6）、の3業種でマイナスであった。

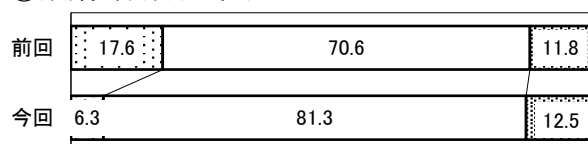
- ・D I値を前期と比較すると、精密機器（22.2ポイント）、輸送用機器（15.4ポイント）、電気機器（8.4ポイント）、一般機器（7.8ポイント）、樹脂製品（6.3ポイント）、金属製品（1.6ポイント）の6業種で上昇し、鉄鋼・非鉄（▲6.2ポイント）のみ低下した。

- ・樹脂製品で「上昇」の回答が増加し、輸送用機器、精密機器の2業種で「低下」の回答が減少した。

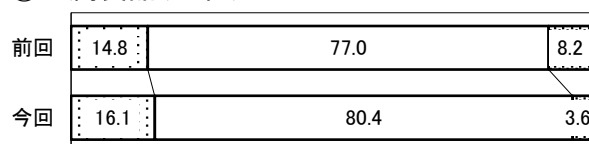
(4) 資金繰りについて



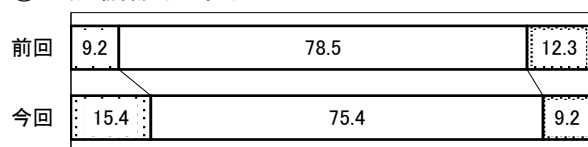
②鉄鋼・非鉄(16社)



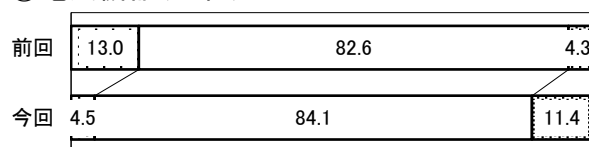
③金属製品(56社)



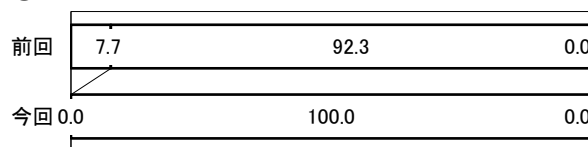
④一般機器(65社)



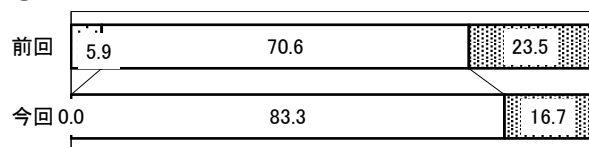
⑤電気機器(44社)



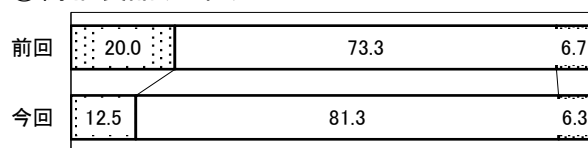
⑥輸送用機器(15社)



⑦精密機器(18社)



⑧樹脂製品(32社)



○全体

・7月～9月期の資金繰りの業況判断D-I（「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は2.5となり、前期（4月～6月期）のD-I値3.7と比べて1.2ポイント低下と全体として大きな変化は見受けられないが、「好転」および「悪化」の回答割合がそれぞれ減少している。

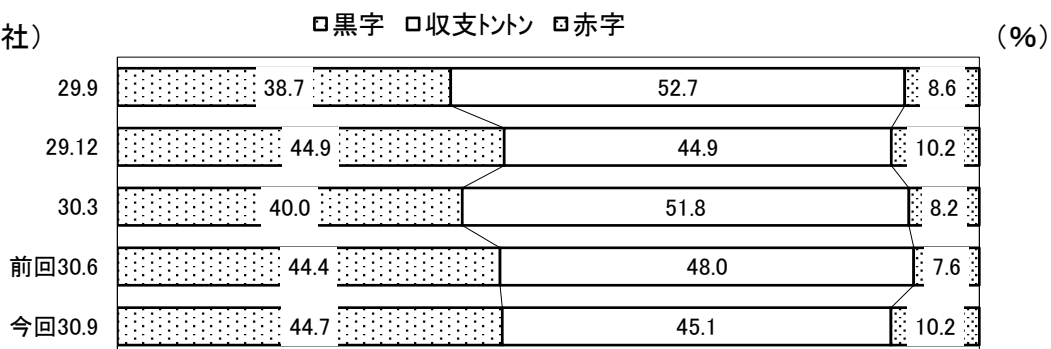
○業種別

・業種7分類中D-I値がプラスであったのは、金属製品（12.5）、一般機器（6.2）、樹脂製品（6.2）の3業種。全て「不変」の回答であった輸送用機器は（±0）となり、鉄鋼・非鉄（▲6.2）、電気機器（▲6.9）、精密機器（▲16.7）の3業種でマイナスとなっている。

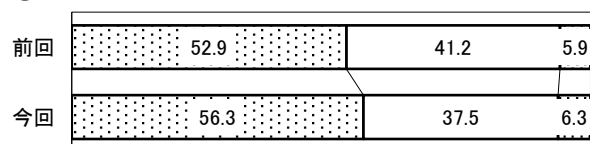
・D-I値を前期と比較すると、一般機器（9.3ポイント）、金属製品（5.9ポイント）、精密機器（0.9ポイント）の3業種で上昇しており、樹脂製品（▲7.1ポイント）、輸送用機器（▲7.7ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲12.0ポイント）、電気機器（▲15.6ポイント）の4業種が低下している。

(5) 採算状況について

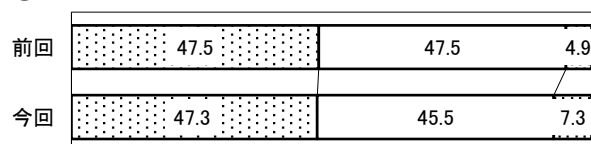
①全体(244社)



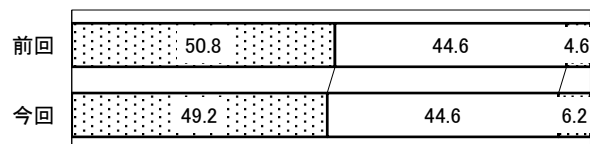
②鉄鋼・非鉄(16社)



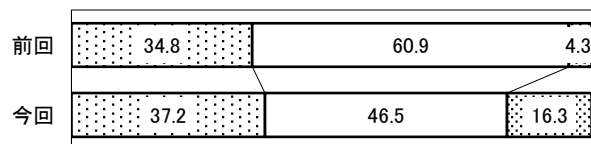
③金属製品(55社)



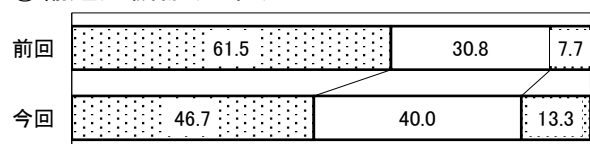
④一般機器(65社)



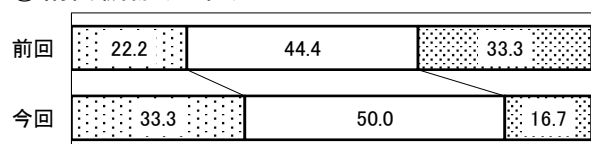
⑤電気機器(43社)



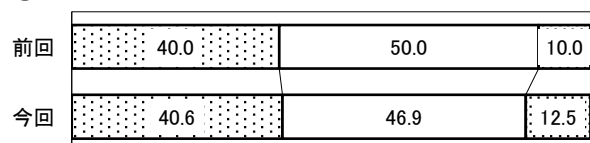
⑥輸送用機器(15社)



⑦精密機器(18社)



⑧樹脂製品(32社)



○全体

・7月～9月期の採算状況の業況判断D I（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は34.5となり、前期（4月～6月期）のD I値36.8と比べ2.3ポイント低下し、「赤字」企業数が増加したものの、依然として「黒字」企業の割合は高い水準で推移している。

○業種別

・D I値は、鉄鋼・非鉄（50.0）、一般機器（43.0）、金属製品（40.0）、輸送用機器（33.4）、樹脂製品（28.1）、電気機器（20.9）、精密機器（16.6）と7業種全てでプラスとなった。

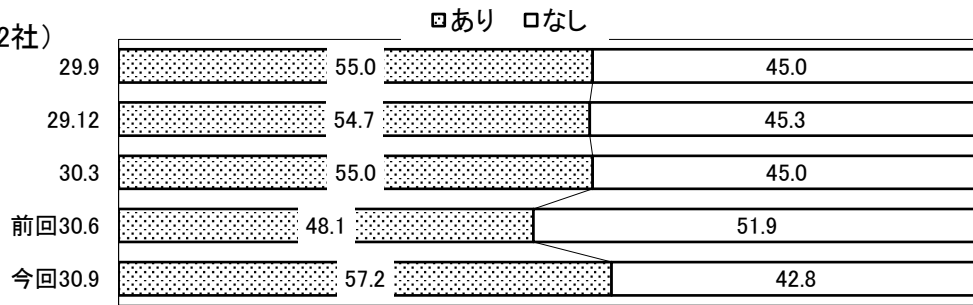
・D I値を前期と比較すると、精密機器（27.7ポイント）、鉄鋼・非鉄（3.0ポイント）の2業種で改善傾向が見られたが、樹脂製品（▲1.9ポイント）、金属製品（▲2.6ポイント）、一般機器（▲3.2ポイント）、電気機器（▲9.6ポイント）、輸送用機器（▲20.4ポイント）の5業種は、悪化傾向となった。

・精密機器が「黒字」企業が増加し、「赤字」企業が減少した一方で、電気機器は「赤字」企業が増加した。

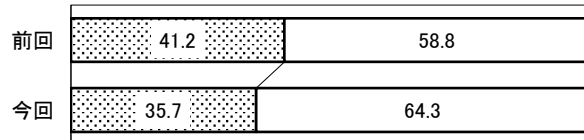
(6) 受注余力について

(%)

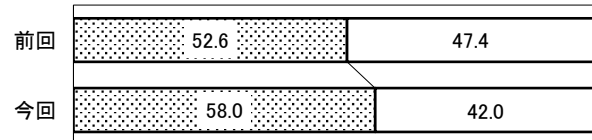
①全体(222社)



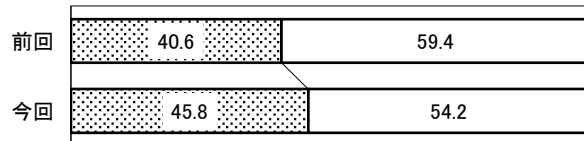
②鉄鋼・非鉄(14社)



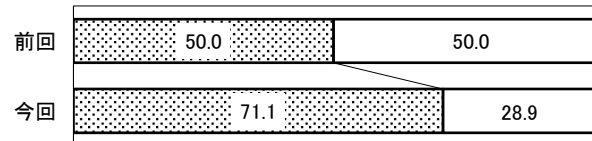
③金属製品(50社)



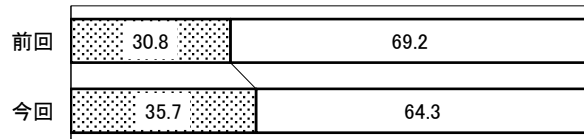
④一般機器(59社)



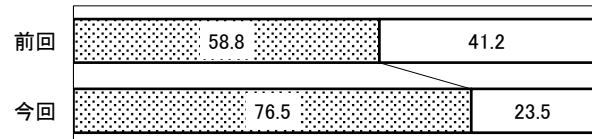
⑤電気機器(38社)



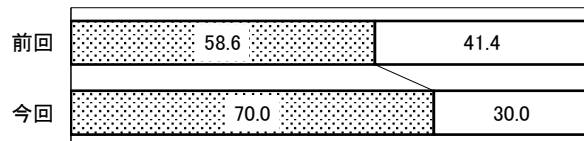
⑥輸送用機器(14社)



⑦精密機器(17社)



⑧樹脂製品(30社)



○全体

・7月～9月期の受注余力の業況判断D I (「受注余力あり」と回答した企業の割合から「受注余力なし」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は14.4となり、前期(4月～6月期)のD I値▲3.8と比べ18.2ポイント上昇した。

(「受注余力あり」企業が増加した＝マイナス傾向)

・7月～9月期は「受注余力あり」とする企業が57.2%と、前期と比較して9.1ポイントの増加となった。

○業種別

・業種7分類中D I値がプラスであったのは、精密機器(53.0)、電気機器(42.2)、樹脂製品(40.0)、金属製品(16.0)の4業種で「受注余力あり」が「受注余力なし」を上回っている。一般機器(▲8.4)鉄鋼・非鉄(▲28.6)、輸送用機器(▲28.6)の3業種で「受注余力あり」が「受注余力なし」を下回っている。

・D I値を前期と比較すると、電気機器(42.2ポイント)、精密機器(35.4ポイント)、樹脂製品(22.8ポイント)、金属製品(10.8ポイント)、一般機器(10.4ポイント)、輸送用機器(9.8ポイント)の6業種で前回比プラスとなり、「受注余力あり」が増加している。鉄鋼・非鉄(▲11.0ポイント)の1業種のみ前回比マイナスとなり、「受注余力あり」が減少している。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 323-5211

E-mail: market@ki21.jp

U R L : http://www.ki21.jp